

国際観光人材の育成	外国語ガイドや各地域の観光関係者向けに外国人対応の技術向上を図る研修を実施する 【観光人材育成事業】	30,853	継続	
オリンピック札幌開催の準備	東京オリンピック札幌開催に向け、徹底した感染症対策を図りながら、聖火リレー等により道内気運の醸成を図るとともに、札幌市や組織委員会と連携し安全・安心な受入環境を整備する 【東京2020オリンピック競技大会消防・救急体制整備(総務部)、東京2020オリパラ競技大会関連事業(環境生活部)、東京2020オリンピック警備費(警察本部)】	479,926	継続	
ホストタウン等における感染症対策	東京オリンピック・パラリンピックの安全・安心な運営を確保するため、道内ホストタウンや事前キャンプ地における感染症対策を適切に実施する 【東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等における新型コロナウイルス感染症対策基金事業】	407,280	新規	
オリンピック開催に伴う市町村の取組支援	地域活性化のため、東京オリンピック札幌開催に伴う合宿の受け入れや選手団との交流等を行う市町村の取組を支援する 【地域づくり総合交付金(東京オリンピック分)】	30,000	継続	
ホストタウンと参加国との交流促進	東京オリンピック・パラリンピックを契機とした海外交流による地域の活性化を推進するため、ホストタウンが行う交流事業を支援する 【ホストタウンアスリート交流プロジェクト】	5,000	継続	
オリパラ開催に併せたメディア向けプロモーション	東京オリンピック・パラリンピックの開催時に、海外メディア向けメディアミーティング、エクスカージョンを実施し、道内各地域の観光の魅力を発信する 【東京2020オリパラを契機とした観光プロモーション事業】	20,037	継続	
来訪者への食と花でのおもてなし	東京オリンピック札幌開催時に、企業及び市町村等と連携し、来道する観光客等に対して「新北海道スタイル」で安全・安心に食と花でのおもてなしを実施する 【東京2020オリンピック食と花のおもてなし事業】	30,000	継続 (拡充)	
オリンピック開催に併せた食と観光の魅力発信	道産品のブランド力向上を図るため、首都圏等において、道内各地域の食、観光、文化の魅力PRを実施する 【国際大会等を契機とした食と観光の魅力発信事業】	55,252	継続 (拡充)	・地方創生推進交付金
アドベンチャートラベルワールドサミットの開催	アドベンチャートラベルトレードアソシエーションが開催する世界最大級のATのイベント「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道」を関係者と連携して開催する 【アドベンチャートラベルワールドサミット開催推進事業】	50,000	継続 (拡充)	
アドベンチャートラベルの推進	地域への経済波及効果の大きいAT(アドベンチャートラベル)の推進に向けて、ATガイドの育成やAT商品の造成、商談会の開催など多様な取組を推進する 【AT受入体制整備事業、ATに係る公的認証制度の検討事業】	109,871	継続 (拡充)	・地方創生推進交付金
広域周遊観光の促進	道内各空港を拠点とした外国人観光客等の周遊を促進するため、地域で魅力ある観光地づくりを推進するとともに、二次交通の利便性向上を図る 【広域観光周遊促進事業】	160,062	継続 (拡充)	
赤れんが庁舎の改修	北海道の文化・観光情報の発信拠点として、館内の展示や活用方法を見直し、施設の魅力向上に取り組む 【赤れんが庁舎改修事業】	242,048	継続 (拡充)	・企業版ふるさと納税

(2)魅力ある食の国内外への展開

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
道産食品の愛食運動の推進	道民運動として北海道の「食」を生かした健全な食生活を実現するため、高齢者、親子、若い世代等を対象に食育や産地地消の推進を図る 【北の大地のめぐみ愛食総合推進事業(どさんこ食育推進事業)】	14,092	継続	
米の消費拡大・米産地づくりの推進	「日本一の米どころ北海道」を目指し、関係機関と連携した北海道米のプロモーションなどを通じ消費拡大に取り組むとともに、低コスト・省力化技術の普及・推進を図る 【ごはん食拡大・米産地づくり推進事業】	4,360	継続 (拡充)	
道産小麦の需要拡大	新たに開発された菓子用小麦品種の普及促進により、道外・海外産小麦から安全・安心で良質な道産小麦への転換を図り、道産小麦の需要拡大を促進する 【道産小麦需要拡大促進事業】	3,229	継続 (拡充)	
酒米の生産振興と道産日本酒のブランド力強化	北海道らしい日本酒を造るため、道産酒米の品種開発や高品質な酒米の安定生産などに取り組むとともに、道産酒米を使った日本酒のプロモーションの取組を通じてブランド力強化を図る 【米どころ・酒どころ振興事業】	17,321	継続	
道産食品の消費喚起	道産食品の消費喚起を図るため、道産食品を扱うアンテナショップなどで利用可能なプレミアム付商品券やネット通販等での割引販売を実施する 【道産品消費喚起特別割引事業】	717,061	継続	

道産食品の道外における内食需要の喚起	感染症の感染拡大により、飲食店等に供給されていた道産食品の需要低迷が懸念されることから、家庭における道産食品の消費喚起を図り、首都圏等での販路を確保する 【道産食品道外販路確保対策事業】	105,000	新規	
食のキーパーソン育成	コロナ禍に対応した販売手法の多角化やノウハウを持ち、食関連産業を牽引する人材を育成する 【食のキーパーソン育成事業】	19,276	継続	・地方創生推進交付金
道産ワインに携わる高度人材の育成	道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの確立・磨き上げを図るため、今後の発展が期待されるワイン関連産業に携わる高度な人材を育成する 【道産ワイン高度人材確保事業】	74,142	継続	・地方創生推進交付金
道産水産物の消費喚起	ホタテなど主要魚種や資源が増加している魚種の需要喚起に向け、インターネット広告を活用したPRなど漁業者団体が実施する取組に支援するとともに、道内飲食店でのフェアを開催する 【道産水産物消費喚起推進事業】	44,103	新規	
エゾシカの利活用促進	安全・安心なエゾシカ肉の更なる流通拡大を図るため、「稼ぐジビエ」のためのマーケティングモデルを創出する 【「稼ぐジビエ」マーケティングモデル創出事業】	10,085	継続 (拡充)	・地方創生推進交付金
食品製造業の研究・商品開発の推進	道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの向上・磨き上げを図るため、食の健康機能性に関する研究体制を構築するとともに、道産機能性食品の開発の取組を進める 【食品製造業の研究・商品開発推進事業】	37,825	継続	・地方創生推進交付金
成長市場向けマーケティングを支援	相談会や商談会等により、首都圏等の富裕層をターゲットとする、コロナ禍に対応した道産食品の磨き上げを行う 【成長市場向けマーケティング支援事業】	11,118	継続	・地方創生推進交付金
北のハイグレード食品の普及促進	地域食材を活用した上質な商品を「北のハイグレード食品」として選定し、効果的な発信を行う 【食品製造業のマーケティング力強化事業】	6,006	継続	・地方創生推進交付金
北海道産農産物を活用したロングライフチルド食品の製造技術開発	おいしさと保存性を兼ね備え、冷蔵で90日間保存可能なロングライフチルド(LLC)食品の製造技術を開発する	6,500	新規	
中国への食の輸出拡大	中国における道産食品の参入機会が拡大されたタイミングを捉え、最大市場である中国への輸出拡大に向けた取組の展開を加速する 【食の海外展開促進・需要拡大事業】	21,309	継続	・地方創生推進交付金
道内企業の海外市場への進出促進と海外販路の拡大	道産食品の輸出拡大に向けて、道内新規参入企業の人材育成と海外販路の拡大を促進するとともに、海外渡航を行う事業者へPCR検査費用等を支援する 【道産食品輸出企業海外進出促進事業、ビジネス海外渡航支援事業】	55,823	継続	・地方創生推進交付金
海外アンテナショップの支援機能強化による販路拡大	海外アンテナショップ(北海道どさんこプラザ)の活用や支援機能の強化により、道産食品のPR及び販路拡大を図る 【海外アンテナショップの支援機能強化による販路拡大推進事業】	56,863	継続	・地方創生推進交付金
道産農畜産物の輸出拡大	農畜産物等の輸出拡大に向けて、これまで築いてきた商流の維持及び有望市場の開拓に加え、家庭食需要に対応した販路を確保するための取組を実施する 【道産農畜産物輸出拡大加速化事業】	43,193	継続 (拡充)	
国際水準GAPの実践拡大の推進	地域の実情に応じたモデル事例の活用等により、多様な地域・経営体への指導に対応し、産地における国際水準GAPの実践拡大を推進する 【国際水準GAP実践拡大推進事業】	22,507	継続	
グローバル産地づくりの推進	輸出事業計画(GFPグローバル産地計画)の策定や海外販路開拓に向けた取組等を支援することにより、輸出に積極的に取り組む産地形成を推進する 【グローバル産地づくり推進事業】	180,973	継続	
道産水産物の輸出拡大	道産水産物の輸出促進のため、海外の飲食店等での販売PRの他、ネット通販や家庭内消費に対応した水産加工品のPR等を行い、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた輸出の回復に取り組む 【道産水産物輸出拡大推進事業】	37,844	継続 (拡充)	・地方創生推進交付金

(3)一次産業の持続的成長

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
農家負担の軽減による農業生産基盤の整備促進	多様な人材が力を発揮し持続可能な本道農業を確立するため、農業者が必要な生産基盤整備に積極的に取り組めるよう道と市町村が連携し、農家負担を軽減する特別対策を実施する 【次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業】	774,000	継続	
地域農業への企業の連携強化	道内農業・農村の体質強化を図るため、地域農業者・JA等と、経営資源を持つ農外企業が連携し、相互の成長が促進されるよう、サポートデスクによるマッチング企業情報の提供を行う 【地域農業と企業との連携強化サポート事業】	2,390	継続	・地方創生推進交付金